

1. スポーツ推進委員協議会の受託処理等の返還について

主な返還理由

事務局の負担が大きいので現状のままでは、次に引き継げない

：主な受託処理等 別紙 : 1

：実質的には、2人分の仕事量が有る(パート的配置なら3人必要)

推進委員協議会が取組課題への対策・支援が無い中での事務受託は無理 別紙 : 2

宮崎市の地域スポーツの衰退歯止めの対策が無い

：地区体育会での参加者減少・・・20数年前から半減

：地区体育会等の予算が年々減少 別紙

：まちづくりとの連携・・・何度も議題に出している

：ここ20年の具体的取組や対策は？

総合型地域スポーツクラブの支援が無い(地域スポーツの支援に繋がる) 別紙

宮崎市平成29年度のスポーツ・健康関連予算一覧確認 別紙

：地域スポーツ(一般市民)に関する予算が極端に少ないと感じる

2. スポーツランド推進課への要望について

公立大の大会は、スポーツランド推進課で担当 別紙 : 3

・前回の懇談会でも提案(予算不足と責任者が不明確・協議会の目的と不一致)

スポーツ推進委員協議会活動目的の確認 別紙 : 4

推薦の在り方について

・前回の条件を再度要望 別紙

総合型地域スポーツクラブの育成・支援

・大幅な医療費抑制に繋がる

地域スポーツと推進委員に関する市の方針を提示して頂きたい

1. スポーツ推進委員の規約の確認

別紙

生涯スポーツの推進と地域づくりへの取り組み

宮崎市スポーツ推進委員協議会規約

(目的)

第2条 この会は、スポーツ推進委員の任務を遂行するために必要な相互の連絡、研修、親睦融和、資質の向上を図り、**宮崎市の生涯スポーツの推進と地域づくり**に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 市民生涯スポーツ推進の各種大会の企画・立案・運営に関する事。
- (2) 宮崎市各地区での活動状況の報告会開催等に関する事。
- (3) スポーツ推進委員の資質向上に関する研修会・講習会の開催・参加に関する事。
- (4) 他地域のスポーツ推進活動状況の視察に関する事。
- (5) スポーツ施設の有効活用に関する事。
- (6) 広報活動に関する事。
- (6) その他、この会の目的達成に必要な事項に関する事。

2. 公立大生の活動と費用(現状は、推進委員の目的と不一致)

年一回の大会の企画・運営が主
公立大生生活用の費用(概算)

県への負担金	約	67,500	
謝金等	約	300,000	
大会費用		160,000	赤字
事務局の費用	約	100,000	
市担当者の費用	約	?	
その他委嘱式他	約	?	

		タグラグビー	
収入		112,800	
直接経費		84,972	
事務費等		75,000	
合計		627,500	+ ?
差引			-47,172

3. スポーツ推進委員協議会が今取組重要課題は？

地区体育会の活動衰退への対策

総合型クラブへの取組で解決可能

推進委員の推薦・委嘱の在り方

・現状は、大会運営のお手伝い意識しかないのでは？

総合型クラブへの取組 **事務局予算の確保が課題**

・運営が上手くいっているクラブは、行政との連携有り

4. スポーツ推進委員協議会の主な受託処理等

主な受託処理等	主な仕事等	受託料	実質事務費
地区対抗大会の受託	各プログラム作成、賞品代 組合せ作成、参加申込受付	92万円	30万円
事務処理の受託	駅伝記録集計、グラウンドG集計 案内、集約 初任者研修等の開催	48万円	48万円
出前講座の対応	通信費、研修費、公立大大会等	45万円	
国・九州・県の表彰の推薦	講師募集と道具予約 推薦書の作成		
障がい者スポーツ大会受託	事務局処理	50万円	10万円
・スポーツ庁の方針と事務局経費補填の為、協議会で受託した 協力事業の窓口	青島太平洋マラソン大会 シーガイアジョギング大会 市町村駅伝大会 サイクリング大会 体力測定(体協)	0 0 0 0	8万円
合計		243万円	96万円

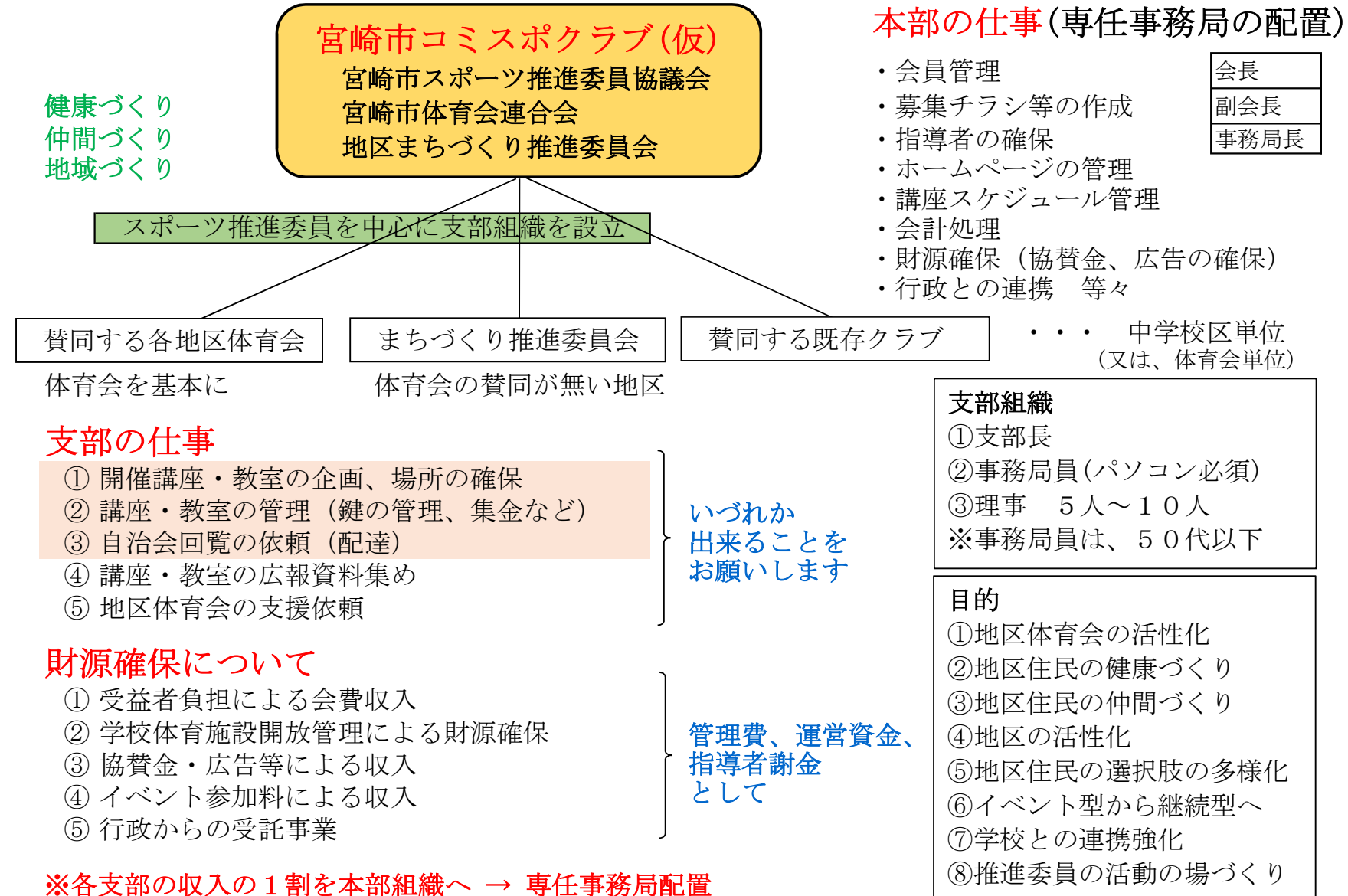
スポーツ推進委員協議会事務局でここまで行っている所は、全国でも稀では！

平成15年度と平成26年度の予算比較

種目	平成26年度体育会予算		各世帯負担金	平成15年度	H26-H15	
	地区名	予算額(円)		繰越金(円)	予算(千円)	差額(千円)
住吉		1,100,000	114,395	世帯170円	910	200
東大宮		278,176	8,162	無	740	-462
大宮		756,533	88,623	世帯100円 均等割2,000円	770	-13
潮見		233,865	33,860	無	740	-506
櫛		253,550	3,550	無	-	0
中央		310,983	58,343	地区4,000円	280	31
江平		180,935	60,935	無	-	0
中央西		992,684	510,284	世帯100円	1,560	-567
小戸		343,528	118,508	世帯50円	380	-36
瓜生野		862,579	82,379	世帯600円	1,850	-987
倉岡		823,445	224,241	世帯650円	730	93
大塚		1,587,795	67,795	自治会連合より1,100,000円	1,400	188
生目		1,271,348	378,368	世帯300円	2,200	-929
生目台		667,400	234,273	世帯100円	457	210
大淀		800,000	45,971	世帯150円	960	-160
赤江		2,001,200	521,247	世帯100円	1,290	711
木花		412,850	1,850	無	1,950	-1,537
青島		668,535	248,485	無	250	419
佐土原		783,675	161,175	無		
田野		2,292,000	381,019	無		
高岡		539,078	139,028	有(自治公民館連協100,000円)		
清武						
差 額						-3,071

各地区体育会の予算額には負担金や宮崎市の補助金以外にイベント等での参加費収入も含まれる。

宮崎市コムスポクラブの考え方 (案)



健康づくり
仲間づくり
地域づくり

宮崎市コムスポクラブ(仮)
宮崎市スポーツ推進委員協議会
宮崎市体育会連合会
地区まちづくり推進委員会

スポーツ推進委員を中心に支部組織を設立

賛同する各地区体育会
体育会を基本に

まちづくり推進委員会
体育会の賛同が無い地区

賛同する既存クラブ

・・・ 中学校区単位
(又は、体育会単位)

本部の仕事(専任事務局の配置)

- ・ 会員管理
- ・ 募集チラシ等の作成
- ・ 指導者の確保
- ・ ホームページの管理
- ・ 講座スケジュール管理
- ・ 会計処理
- ・ 財源確保 (協賛金、広告の確保)
- ・ 行政との連携 等々

会長
副会長
事務局長

支部の仕事

- ① 開催講座・教室の企画、場所の確保
- ② 講座・教室の管理 (鍵の管理、集金など)
- ③ 自治会回覧の依頼 (配達)
- ④ 講座・教室の広報資料集め
- ⑤ 地区体育会の支援依頼

いずれか
出来ることを
お願いします

財源確保について

- ① 受益者負担による会費収入
- ② 学校体育施設開放管理による財源確保
- ③ 協賛金・広告等による収入
- ④ イベント参加料による収入
- ⑤ 行政からの受託事業

管理費、運営資金、
指導者謝金
として

支部組織
① 支部長
② 事務局員(パソコン必須)
③ 理事 5人~10人
※事務局員は、50代以下

目的
① 地区体育会の活性化
② 地区住民の健康づくり
③ 地区住民の仲間づくり
④ 地区の活性化
⑤ 地区住民の選択肢の多様化
⑥ イベント型から継続型へ
⑦ 学校との連携強化
⑧ 推進委員の活動の場づくり

※各支部の収入の1割を本部組織へ → 専任事務局配置

各支部で、まずは、3つ4つの講座・教室から

平成29年度スポーツ・健康関連予算一覧

参考資料

	事業名	事業費
1	地域スポーツ振興事業(推進委員関連)	12,000
2	スポーツ大会等開催事業	5,400
3	学校体育施設開放事業	7,370
4	市民スポーツ振興支援事業	6,512
5	ソフトテニスジュニアジャパンカップ事業	3,000
6	宮崎市体育協会の運営・自主事業の助成	49,130
7	スポーツ少年団	18,800
8	トップアスリート	3,090
9	社会体育施設の	597,964
10	社会体育施設の管理運営費	634,167
11	社会体育施設備品整備事業	11,500
	合計	1,332,033
1	生き生き地域子育て活動応援事業(長寿)	1,890
2	生き生き地域活動	4,820
3	気づいて防ごう!	370
4	生活支援体制整備等事業	21,400
5	認知症カフェ等推進事業	1,500
6	認知症初期集中支援チーム推進事業	9,900
7	認知症地域支援推進事業	14,700
8	認知症高齢者支援事業	2,170
9	介護予防・生活支援サービス事業	374,678
10	介護予防ケアマネジメント事業	46,726
11	シニア応援ボランティア事業	6,730
12	みんなで体操みんなで健幸事業	20,860
13	介護予防グループ支援事業	2,850
14	脳力・体力パワーアップ事業	7,524
	敬老バス事業	369,000
	合計	885,118
1	宮崎市観光協会補助継続実施事業	62,835
2	教育旅行補助事業	10,000
3	フラプロモーション推進事業	3,000
4	スポーツプラザ宮崎JERSEY運営事業	12,000
5	宮崎市観光協会	35,000
6	プロ野球公式戦等開催支援事業	2,000
7	ゴルフマンスキャベン事業	8,600
8	観光スポーツイベント歓迎装飾事業	6,800
9	スポーツ等合宿受入事業	6,400
10	プロ野球宮崎キャンプ受入事業	66,000
11	プロスポーツ受入団体補助事業	37,800
12	みやざきフェニックス・リーグ開催支援事業	37,000
13	東アジアリトルシニア野球大会開催支援事業	7,000
14	球春みやざきベースボールゲームズ開催支援事業	21,000
15	アクサレディスゴルフトーナメント開催支援事業	5,000
16	青島太平洋マラソン開催支援事業	7,000
17	スポーツ大会誘致推進事業	18,500
18	東京オリンピック・パラリンピック等事前合宿誘致	5,000
19	トリアスロンW杯宮崎大会開催支援事業	2,000
20	三球シャトル運行支援事業	1,900
21	読売ジャイアンツ宮崎キャンプ60周年記念事業	10,000
22	春季ベースボールキャンプ支援事業	500
23	清武総合運動公園テニスコート屋根借上事業	27,000
24	国際海浜エントランスプラザ多目的広場高度管	2,250
	合計	382,585
1	視覚障害者マラソン宮崎大会	1,600
2	障がい者スポーツ大会開催補助事業	844
3	健康づくり推進協議会支援事業	1,700
4	地域コミュニティ活動交付金事業	86,537
5	地域のお宝発掘・発展・発信事業	87,090
6	地域コミュニティ活動基金積立事業	85,974
7	健康みやざきマイレージ事業	10,000
8	どこでもロコモ予防	1,600
	個別健康診査事業	253,000
	合計	528,345

内10万円が総合型クラブ

地域総務課	
佐土原体力づくり	270
スポーツ大会	
佐土原総合支所	
田野地域スポーツイ	510
ベント	-513
田野総合支所	
高岡体力づくりスポ	370
ーツ大会等	
高岡総合支所	
清武体力づくり	1,000
スポーツ大会	
清武総合支所	

課が不明	
シーガイアジョギング	1,260
ユニファイド大会	
合計	341

収益金1,140万円を寄付

+ 事務局運営費 65,902

宮崎市スポーツ推進委員協議会加入条件

平成30年4月1日

宮崎市スポーツ推進委員協議会
会長 山本 幸徳

宮崎市スポーツ推進委員協議会加入条件を制定する理由

現在の推薦・委嘱の在り方では、以下のことが課題である。

下記、スポーツ基本法の委嘱条件が重要である。

体育会組織・地域活動やスポーツを理解しない人が委嘱されると活動が停滞する。

委嘱されて、ほとんど活動しない人が再度委嘱されると、運営が停滞する。大変である。

現状の委嘱状況では、推進委員事務局の対応が大変である。

このような課題を解決して、宮崎市の生涯スポーツがより発展するために、下記の加入条件を制定します。

スポーツに関する深い関心と理解の有る方

自治会に加入されている方

原則として新任の場合、55歳以下の方

原則として年齢が70歳未満の方

再任の場合、既定のポイントを確認している方（注1）

協議会会費を期限内に納めていただける方（会費5,000円）

委嘱年度の4月1日までに委嘱された方

各種案内連絡用に携帯メールかパソコンメールを使える方

～ までは、役員会で承認されれば、加入できる

スポーツ基本法第32条

第32条 市町村の教育委員会(特定地方公共団体にあつては、その長)は、当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、**社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、及び次項に規定する職務を行うのに必要な熱意と能力を持つ者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする。**

2 スポーツ推進委員は、当該市町村におけるスポーツの推進のため、教育委員会規則(特定地方公共団体にあつては、地方公共団体の規則)の定めるところにより、**スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導 その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとする。**

3 スポーツ推進委員は、非常勤とする。

(注1) 行事や研修等の参加をポイントにして、2年間の実績を取る。